

電波時計 取扱説明書

(掛置兼用 AC電源デジタル目覚まし時計)

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

製造
発売元

リズム株式会社

〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

(Y2405)

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でアフターサービスが受けられない場合は、当社総合サポートにてお問い合わせください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について

電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、3年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきますことがあります。

●修理可能期間について

無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

この製品のサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先

リズム総合サポート

https://rhythm.jp/support/

商品照会の際は、製品表面または底面に表示してある製品番号(型番)をご確認ください。例. 8RZ○○○
お客様相談室:0120-557-005 受付時間 9:00~17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ○は、禁止(してはいけないこと)を示しています。

●は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

⚠ 警告 次のことを守らないと、火災や感電により死亡や大けがなど人身事故の原因になります

ぬれた手でふれない

感電や故障の原因になります。

浴室やサウナ、温室など、高温・高湿になる場所では使わない

感電や故障の原因になります。

分解や改造をしない

火災や感電、故障の原因になります。

ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、重いものを載せたり、挟み込んだりしない

ケーブルが破損して、感電や火災の原因になることがあります。

AC電源アダプターやケーブルが傷んだときは使用を中止する

そのまま使用すると、感電や火災の原因になります。

本体やAC電源アダプターから発熱・煙・異臭などがするときは、直ちにAC電源アダプターをコンセントから抜く

そのままにすると、感電や火災の原因になります。

ACプラグおよびコンセントの差し込み口のほこりを定期的にとる

ほこりがたまると、絶縁不良となり、火災の原因になります。

AC電源アダプターを接続するときは、コンセントや配線機器の定格を超える使いかたをしない

定格を超えて使うと、発熱や火災の原因になります。

AC電源アダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。

雷が鳴り出したら、本機やAC電源アダプターにふれない

感電の原因になります。

故障や破損した状態で使わない

けがや火災、感電などの原因になります。

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない

万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池の液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池に傷をつけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を充電しない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を火の中に入れない。

梱包用のポリ袋をかぶらない

窒息する恐れがあります。

電池の液漏れが起きたときは、素手でさわらない

- 目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。
- 電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときは、お買い上げの販売店または当社総合サポートにてお問い合わせください。

⚠ 注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

電池の⊕⊖を正しく入れる

液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

使用中のAC電源アダプターに長時間ふれない

低温やけどの原因となります。

長期間使用しないときは、電池とAC電源アダプターを取り外す

安全のためAC電源アダプターや電池を取り外してください。

AC電源アダプターのケーブルを引っ張らない

断線を防ぐため、コンセントから抜くときは、AC電源アダプター本体を持ってください。

強い振動や衝撃を与えない

故障や破損の原因になります。

下記のような場所では使わない

性能の低下、部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器の風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場など多くの油を使用する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質をすることがあります。

LED表示の明るさの変化について

本製品は時計表示の光源にLEDを使用しています。LEDの特性上、光源の明るさが徐々に低下するため、色合いや各数字ごとの明るさに差が生じることがあります。

低下の割合は、使用する明るさの設定や設置環境により変わります。また、LEDは3年後で新品時の半分程度の明るさに低下することがあります。

※LEDの交換や修理には対応できませんので、あらかじめご了承ください。

静電気の影響について

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このようなときには、**リセットボタン**を押してください。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、柔らかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 壁に掛けて使用した場合、静電気により製品や壁が汚れることがあります。定期的に汚れを落としてください。

電池・製品の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定に従ってください。
- 製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロハンテープなどで絶縁してください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いかねますのでご了承ください。

GUARANTEE 保証書

※印は販売店記入

取扱説明書にそった正常な使用状態において、万一保証期間内に故障がおきた場合、本保証書を添えて時計お買い上げの販売店にご持参くだされば、無料修理・調整いたします。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。この保証書は、お買い上げ店で発行いたします。必ず※印欄の記入・捺印をお確かめのうえ大切に保管してください。保証書は再発行いたしません。	※品名・型番				
※販売店印(住所、店名、電話番号)	TEL() -				
	※保証期間	年	月	日より	1年間
	お買い上げお客様				
	ご氏名				様
	ご住所				

- ネット通販をご利用の場合は、領収書やレシートなど、購入日が確認できる記録を添付してください。
- この保証書は国内のみ有効です。This guarantee is valid only in Japan.
- ご記入いただきました個人情報、修理・調整に関するご連絡にのみ利用させていただきます。

■販売店の方へ

この保証書は、お客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするためのものです。ただし、貴店で別に保証書を発行する場合は、この限りではありません。

保証について ※送料・出張料は、実費をいただきます。

■ 次のような場合には、保証期間中でも有料修理になりますので、ご注意ください。

1. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合。
2. 保証書の※欄に記入・捺印のない場合、字句を書きかえられた場合。
3. お買い上げ店以外の販売店にご依頼の場合。
4. お客様のお手元に渡ってからのお取り扱いや輸送での落下など異常な衝撃による故障または損傷。
5. 天災・火災または異常な塩分・酸・蒸気・熱・有毒ガスなどの影響による故障、または損傷。
6. お客様による修理・改造などが原因で故障した場合。
7. ご使用中に生じる外観上の変化。(製品の小さキズや汚れなど)
8. 電池の交換

電波時計について

電波時計とは
クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。標準電波送信所は、福島県の「福島局：おおたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局：はかね山標準電波送信所」の2か所にあります。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jjy.nict.go.jp)
※アドレスは変更になる場合があります。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

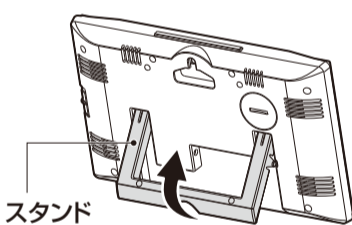
電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
- 高圧線、テレビ塔、電車の架線近く
- 金属製の雨戸やブラインドの近く
- 朝夕の時間帯、雨天のとき
- 家電製品やOA機器の近く
- 地下、ビルの中、ビルの谷間
- スチール机等の金属製家具の上や近く

設置について

置く



置いてご使用になるときには、スタンドを図のようにしてください。

※無理な荷重を加えるとスタンドが外れたり、破損することがあります。

※転倒や落下を防ぐために、水平で振動の少ない安定した所に設置してください。

掛ける

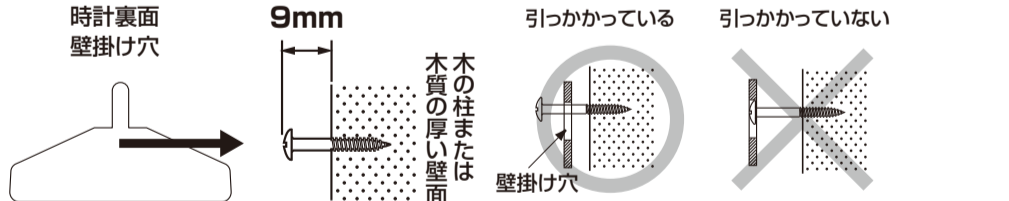
⚠ 注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

○掛けるときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具(木ねじ)がしっかり掛かっていることを確認してください。

- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。
- 市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
- ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。
- ※掛けるときは、スタンドを収納してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
- 木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



その他の壁面の場合

- 石膏ボード、コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、粘着式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10~50℃ *結露しないこと (液晶表示可読温度範囲0~40℃)	アラーム機能	セットした時刻にアラームが鳴る
時間精度	標準電波受信成功直後の表示精度 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒(常温中のクォーツ精度)	アラーム精度	表示時刻に対して ±0秒
AC電源アダプター		アラーム音	電子音
入力定格	AC100V 50/60Hz 10VA	スヌーズ	アラーム音が約5分間の一時停止
出力定格	DC5V 100mA	オートストップ	アラーム音が連続5分で自動停止
消費電力	約2W	音量調節	なし
コード長	約2m	時刻表示形式	12時間/24時間表示切り替え
電源	リチウム電池 CR2032 1個	カレンダー	2019~2099年まで対応
停電補償	約1000時間	温度表示	-9.9~50℃
照	明 AC電源に接続されているときに液晶表示部を常時照明	温度精度	±2℃
光源	白色LED	防滴防塵機能	なし
明るさ調節機能	強、中、弱の3段階	標準電波受信局	標準電波を受信して日付・時刻を修正 福島局/九州局自動選択
		受信回数	8回/日
		受信開始時刻	1時~4時、13時~16時の各時間帯の 16分40秒から受信開始
		受信ON/OFF	あり ボタン操作にて切替可能

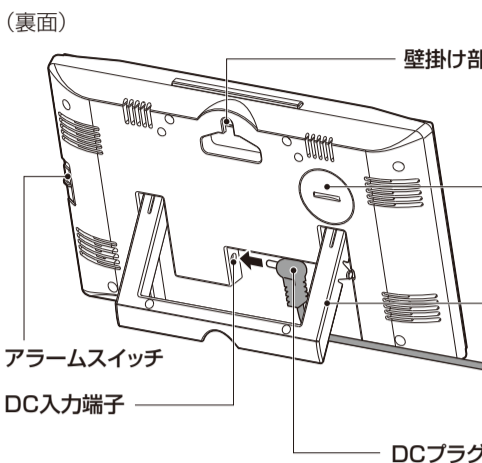
※液晶はその特性上、0℃未満になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなる場合があります。
40℃を超えると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。
※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。
※付属の電池は、動作確認のためのお試し用です。工場出荷時に同梱しますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の使用電池に交換した場合に適用となります。
※製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品 AC電源アダプター 1個、お試し用電池(CR2032) 1個、木ねじ 1個、保証書 1枚

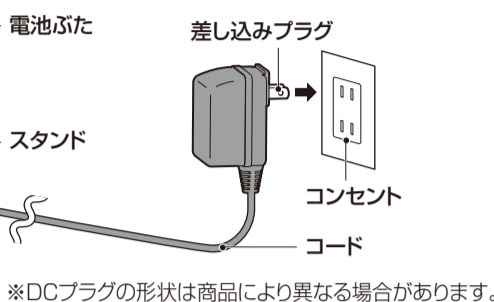
各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

時計正面より見てください。液晶は見る方向により薄くなったり、ムラになったりします。

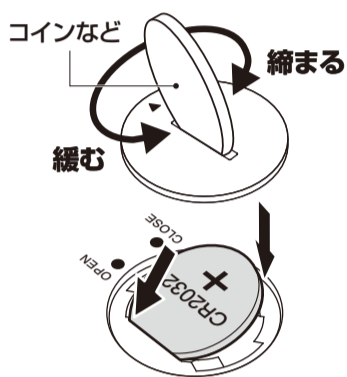


- (正面操作部)
- モニター 時刻/日付 強制受信 時刻合わせ リセット
- ①+
 - ②-
 - ③リセット
 - ④時刻合わせ
 - ⑤強制受信
 - ⑥時刻/日付
 - ⑦モニター
 - ⑧スヌーズ
- ①+(進む) アラーム時刻や手動で日時を合わせる時に使用。
②-(戻る) 誤作動を防ぐために電源を入れた直後に押す。
③リセット 誤作動を防ぐために電源を入れた直後に押す。
④時刻合わせ 手動で日時を合わせる時に使用。短押しで、12/24h表示を切り替える。
⑤強制受信 すぐに電波の受信を開始させたいときに押す。約8秒間の長押しで電波受信機能のON/OFFを切り替える。
⑥時刻/日付 時刻と日付の表示位置を切り替えるときに使用。
⑦モニター アラーム音の試験をするときに押す。
⑧スヌーズ アラームが鳴っているときに押すとアラームの一時停止。約2秒間の長押しで明るさを切り替える。



1. 電源のセット

(1) 停電補償電池をセットする



停電補償電池の役割

停電補償電池は停電などでAC電源から電力を得られないときに、日時やアラーム時刻を保持し、定期的に受信を行うためのものです。停電補償電池のみでは日時、アラーム時刻のセット、照明やアラームなどの機能は使えません。必ずAC電源アダプターを使用してください。

停電などでAC電源アダプターから電力が得られないときに、日時を保持するための停電補償電池をセットしてお使いください。

必ずAC電源アダプターを本体から取り外して作業をしてください。

- ①電池ふたの▲印をCLOSEからOPEN位置に回して、電池ふたを取り外す。
- ②電池の+表示を上に入れて入れる。
- ③電池ふたの▲印をOPENからCLOSE位置に回して、電池ふたを取り付ける。
※電池が取り出しにくいときは、すまじも楊枝などを挿し込んで電池を持ち上げてください。
※金属製のピンセットを使用しないでください。電池がショートすることがあります。
※交換用の電池は、家電量販店やコンビニなどでお買い求めください。
※付属の電池はお試用ですので短い期間で電池の交換が必要になることがあります。

危険 死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容

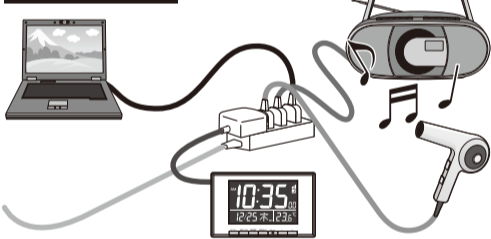
小さなお子様の手の届く所に置かない
ボタン電池やコイン電池を飲み込むと短時間で化学やけど、粘膜組織の貫通などを引き起こし、最悪の場合は死に至ることもあります。
ボタン電池やコイン電池は絶対に乳幼児の手の届くところに置かないでください。万が一、飲み込んだときは、直ちに医師に連絡して指示を受けてください。

(2) ACアダプターを接続する

- 警告** 必ず付属のAC電源アダプターを使用する。他のものを使用すると、故障や火災の原因になることがあります。
- 警告** 使用中のAC電源アダプターは熱を持ちます。異常ではありませんが、ふれられないほど熱くなったときは、コンセントから抜いて使用を中止してください。

AC電源アダプターをAC100Vのコンセントにしっかり差し込み、時計のDC入力端子にプラグを根元まで差し込んで接続します。

悪い接続例



家電製品やパソコンなどが接続されたテーブルタップにAC電源アダプターを接続すると、ノイズの影響により、受信に失敗することがあります。

接続するときのポイント

- ※単独のコンセントに接続する。
- ※AC電源アダプター本体と時計を30cm以上離す。

2. 標準電波を受信させて日時を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で日時を合わせるときには、(手動での時刻合わせ)をお読みください。◎電波を受信しやすい窓際などに置いてください。

- ①楊枝などでリセットを押す
※リセットを押すと、「ピー」と鳴って受信を開始します。
※リセットを押すと、2019年1月1日、AM 12:00、アラーム時刻はAM6:00に初期化されます。
◎受信中はボタンに触れないでください。
- ②20分待つて受信結果を確認する
受信は、最長で約20分行います。受信マークで受信結果を確認してください。
☞【受信の流れと表示】参照

【受信の流れと表示】



◎受信マークは受信成功後、約24時間点灯。
◎受信に成功しても、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。このようなときは、場所を変えてからリセットを押し、再度受信を試みてください。

標準電波を受信できない場合

- 朝までそのままにしておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくとう受信できる可能性が高くなります。
- 場所を変える/受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考にして、電波の送信所に時計の正面または裏面が向くように置き直し、リセットを押して結果を確認します。

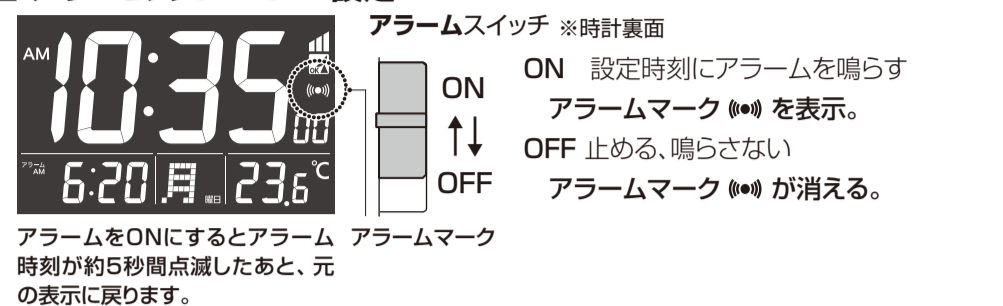
3. アラーム機能を使う

アラーム時刻を合わせる



- ①アラームスイッチをOFFにする
●アラーム状態のときは、アラーム時刻の設定はできません。
※アラーム状態とは、アラームが鳴っているまたはスヌーズ機能を使用している状態のことです。
- ②+(進む)または-(戻る)を押してすぐ離す
「アラーム」とアラーム時刻が点滅。
- ③+(進む)または-(戻る)でアラーム時刻を合わせる
- ④約5秒間ボタン操作をしないと設定を終わる

アラームのON/OFF設定



スヌーズ機能(止めてもまた鳴る)

アラームが鳴っているときにスヌーズを押すと、アラームマークが点滅して約5分間アラームが停止してからまた鳴り出します。この操作は7回まで繰り返すことができます。
8回目はスヌーズを押してもアラーム音は止まりません。止めるには、アラームスイッチをOFFにしてください。

アラームオートストップ(自動鳴り止め)

鳴っているアラームを放置すると約5分で止まります。アラームの状態はONのままです。

アラーム音の試験(モニター)

モニターを押している間、鳴り続けます。日時やアラーム時刻の設定中、アラーム状態のときは使えません。

アラームご使用上のご注意

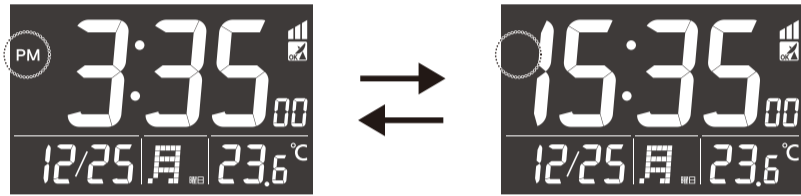
- アラームスイッチがONの状態では、OFFにするまで毎日アラームが鳴ります。
- 停電などでAC電源から電力が供給されないときは、アラームは鳴りません。

時刻表示の切り替え

「アラーム状態」「アラーム時刻、日時の設定中」は、表示の切り替えが出来ません。

時刻表示形式の切り替え

時刻合わせを押してすぐに離すと12時間表示と24時間表示を切り替えることができます。
AM/PM付12時間表示(AM:午前 / PM:午後) 24時間表示(0:00 00~23:59 59)



表示位置の切り替え



明るさの切り替え

照明の明るさは、強、中、弱の3段階です。スヌーズを約2秒間押し続けると、1段階ずつ明るさが低下します。
※「弱」のときにスヌーズを押し続けると「強」になります。
※連続して切り替わりませんので、切り替えるたびにボタンを押し直してください。
※アラームが鳴っているときやアラーム時刻、日時の設定中は明るさを切り替えられません。

温度表示について

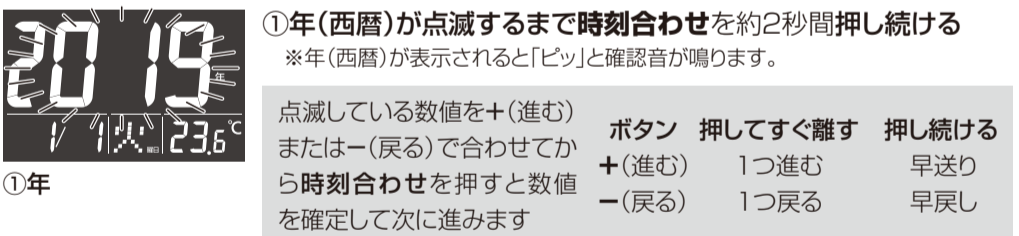
センサーが時計内部にあるため、周囲の温度変化をすぐには反映しません。
本製品は一般的な家庭やオフィスなどの室内用です。直射日光が当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くでは、室内の正しい温度を表示しにくくなります。
※設置する高さによっても温度が変わります。 ※厳密な温度管理や証明、商取引には使えません。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度「H」50℃を超える高温 「L」-9.9℃未満の低温

手動での時刻合わせ …… 電波が受信できないときや任意の日時に合わせるとき

操作例に従って、年(西暦)、月、日、時刻(時、分、秒)の順に設定してください。
操作例 2023年12月25日 AM10:35に合わせる



- ①年(西暦)が点滅するまで時刻合わせを約2秒間押し続ける
※年(西暦)が表示されると「ピッ」と確認音が鳴ります。
点滅している数値を+(進む)または-(戻る)で合わせてから時刻合わせを押すと数値を確定して次に進みます
 - ②年を合わせる
 - ③月を合わせる
 - ④日を合わせる
 - ⑤時を合わせる
 - ⑥分を合わせる
 - ⑦秒を合わせる
- 表示の設定が12時間表示か24時間表示かをご確認のうえ、時刻合わせをしてください。
 - 約30秒間ボタン操作を中断すると、表示されている内容で設定を終わります。
 - アラーム時刻またはアラームマークが点滅しているときは、日時の設定はできません。
 - 標準電波を受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。
 - 電波受信機能がONのときは、受信に成功すると日時を自動修正します。

以上で設定が終わりました。

強制受信とリセット操作について

強制受信 (受信機能がONのとき)
場所を移動したときなどに、強制受信を押すと「ピッ」と鳴って受信を開始します。受信に失敗しても時刻は継続して表示します。次のようなときは受信を開始しません。
●アラーム状態のとき ●手動で時刻またはアラーム時刻を設定しているとき
●受信機能がOFFになっているとき

リセット

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。
リセット直後は、2019年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00になります。照明の明るさは強に設定され、受信機能がONのときは、受信を開始します。

電波受信機能のON/OFFを切り替える

ON:定期的に受信を行い、受信に成功すると日時を自動修正します。
OFF:電波を受信しません。遅れ進みが発生したときは、手動で日時を修正してください。
強制受信ボタンを約8秒間押し続けると、ONとOFFが切り替わります。



※操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作をやり直してください。
※AC電源アダプターを取り外しても、停電補償用電池により設定は保持されます。